撮影する(応用編)

本機はさまざまな機能の切り替えにより、多彩な応用撮影ができます。

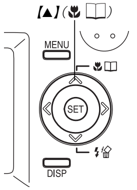
ピント合わせの方法を変える

ピント合わせの方法には、オートフォーカス、マクロ、無限遠、マニュアルフォーカスの4種類があります。これらをフォーカスモードといいます。

1. RECモードにします。

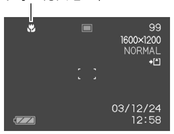
2. 【▲】(🌷 📖)を押します。

- 押すごとにフォーカスモードが切り替わります。



→ 表示なし(オートフォーカス)
↓
🌷(マクロ)
↓
∞(無限遠)
↓
MF(マニュアルフォーカス)

フォーカスモード



自動でピントを合わせる(オートフォーカス)

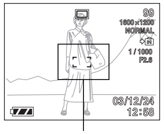
オートフォーカスでは自動的にピントを合わせることができます。シャッターを半押しすると、オートフォーカス機能が働き自動的にピント調整を始めます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

範囲：約60cm～∞

1. 【▲】(🌷 📖)を何回か押してフォーカスモード表示を消します。

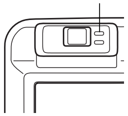
2. ピントを合わせたい被写体を【フォーカスフレーム】の中にとらえて、【シャッター】を半押しします。

- 【動作確認用ランプ】と【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。



【フォーカスフレーム】

緑の【動作確認用ランプ】



状況	動作確認用ランプ	フォーカスフレーム
ピント合わせ完了	緑点灯	緑点灯
ピント合わせ不可	緑点滅	赤点灯

3. 【シャッター】を全押しして撮影します。

■ オートフォーカスの測定範囲を変える

オートフォーカスモード、マクロモードにおいて、オートフォーカス(AF)の測定範囲を変更することができます。設定によって【フォーカスフレーム】の形状も変わります。

1. RECモードで【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"AFエリア"と選び、【▶】を押します。

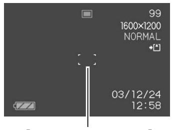
3. 設定内容を選び、【SET】を押します。

スポット：中央のごく狭い部分を測定します。フォーカスロック(49ページ)を活用した撮影に便利です。

マルチ　：シャッターを半押しすると、5つの測距点の中で、距離が一番近い被写体にピントを合わせます。集合写真などに便利です。

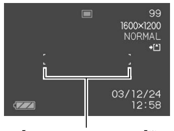
※ "マルチ"の場合、幅広い【フォーカスフレーム】表示されます。【シャッター】を半押しすると、ピントが合った場所の【フォーカスフレーム】が表示されます。

"スポット"の場合



【フォーカスフレーム】

"マルチ"の場合



【フォーカスフレーム】※

近くを撮影する(マクロ)

マクロでは近距離で自動的にピントを合わせることができます。近くのものを撮影(接写)するときに使用します。シャッターを半押しすると、オートフォーカス機能が働き自動的にピント調整を始めます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

約10cm～70cm

1. 【▲】(🌷 📖)を何回か押して"🌷"を表示させます。

2. 撮影します。

- ピントの合わせかた、撮影のしかたはオートフォーカスモードと同じです。
- 【動作確認用ランプ】／【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。点灯のしかたはオートフォーカスモードと同じです。

重要! • マクロでの光学ズームは1～1.2倍の範囲で使用できます。

遠くを撮影する(無限遠)

景色など遠景を撮影するときに使用します。

1. 【▲】(🌷 📖)を何回か押して"∞"を表示させます。

2. 撮影します。

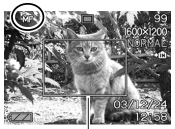
手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

マニュアルフォーカスでは手動でピントを合わせることができます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

光学ズーム倍率	範囲
1倍	約10cm～∞
3倍	約60cm～∞

1. 【▲】(🌷 📖)を何回か押して"MF"を表示させます。

- 手順2で拡大表示される範囲が枠で囲まれます。



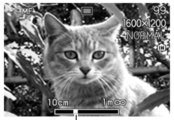
枠

2. 【液晶モニター】で確認しながら、【◀】【▶】によりピントを合わせます。

【◀】：遠い側にピントを合わせる

【▶】：近い側にピントを合わせる

- 【液晶モニター】にはマニュアルフォーカスの位置が表示され、おおよそのピントの位置が確認できます。
- ピントを合わせている間は表示が拡大表示になり、ピントの確認がしやすくなります。



マニュアルフォーカスの位置

3. 【シャッター】を押して撮影します。

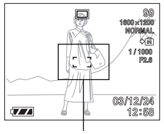
重要! • マニュアルフォーカス時は「左右キー設定」(66ページ)により設定されている【◀】【▶】を押しての動作は無効になり、ピント合わせの動作が優先されます。

フォーカスロック

撮影したい構図で【フォーカスフレーム】に入らない被写体にピントを合わせる場合は、フォーカスロックを使います。フォーカスロックはオートフォーカスモード、マクロモード（🌷）で使用できます。

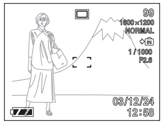
1. ピントを合わせたい被写体を【液晶モニター】で見ながら、【シャッター】を半押しします。

- ピントの合わせかた、撮影のしかたはオートフォーカスモードと同じです。
- 【動作確認用ランプ】／【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。点灯のしかたはオートフォーカスモードと同じです。



【フォーカスフレーム】

2. 【シャッター】を半押ししたまま、撮影したい構図を決めます。



3. 【シャッター】を全押しして撮影します。

参考 • フォーカスロックと同時に露出（AE）もロックされます。

露出を補正する（EVシフト）

本機は撮影時の明るさに応じて、露出値（EV値）を下記の値に手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影などに利用すると、より良好な画像が得られます。

露出補正値：−2.0EV〜+2.0EV
補正単位　：1/3EV

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“EVシフト”と選び、【▶】を押します。

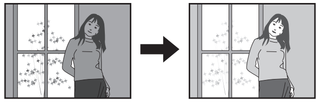
露出補正表示

3. 【▲】【▼】で露出補正値を選び、【SET】を押します。

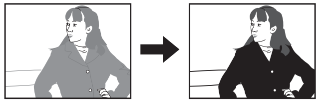
- これで露出補正値が設定されました。

露出補正表示

【▲】：＋方向に補正されます。白い物の撮影や逆光での撮影のときに押します。



【▼】：−方向に補正されます。黒い物の撮影や晴天の野外などのときに押します。



- 露出補正値をもとに戻したいときは、反対方向に露出補正して“0.0”に合わせてください。

4. 撮影します。

重要! • 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。

参考 • EVシフトを行うと、測光方式が自動的に中央重点測光（中央部を重点的に測光します）に切り替わります。EVシフトを“0.0”に戻すとマルチパターン測光（画面全体を分割し、それぞれのエリアの測光データを元に露出を決めます）に戻ります。
• キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】で露出値が補正できるように切り替えられます（66ページ）。

ホワイトバランスを変える

被写体は、太陽光や電球の光など光源の波長によって色味が異なっています。ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整することです。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

オート	：自動的にホワイトバランスを調整します。
（太陽光）	：屋外での撮影時
（日陰）	：日陰で青みがかるとき
（電球）	：電球下で赤みがかるとき
（蛍光灯）	：蛍光灯下で緑がかるとき
マニュアル	：現在の光源に合わせて手動で設定します。詳しくは「マニュアルホワイトバランスの設定」（52ページ）を参照してください。

参考 • “マニュアル”を選ぶと、前回マニュアルホワイトバランスを設定した際の値に設定されます。
• キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】でホワイトバランスが変更できるように切り替えられます（66ページ）。

マニュアルホワイトバランスの設定

ホワイトバランスの“オート”では光源によって自動調整の処理に時間がかかったり、調整できる範囲（色温度）に限界があります。マニュアルホワイトバランスを使うと、さまざまな光源下で適正な色に調整することができます。マニュアルホワイトバランスの設定は、白い紙などを画面に一杯に写した状態で行ってください。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“マニュアル”を選びます。

- 【液晶モニター】には、前回調整したバランスで被写体が表示されます。

4. 画面全体に白い紙などを写した状態で【シャッター】を押します。

- “完了”と表示されたらホワイトバランスの調整は完了です。
- 暗い所や色の濃いものでホワイトバランスを調整すると時間がかかります。

5. 【SET】を押します。

- ホワイトバランスを決定し、撮影ができる画面に戻ります。

さまざまなシーンを選んで撮影する(ベストショットモード)

21種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、自動的にそのシーンに最適な設定になります。

■シーンのサンプル画像例

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"BS"(ベストショット)を選び、【SET】を押します。

- ベストショットモードになり、シーンのサンプル画像が表示されます。

4. 【◀】【▶】で撮影したいシーンを選び、【SET】を押します。

5. 撮影します。

重要!
- No.4のシーンについては「カップリングショット」(55ページ)、No.5のシーンについては「プリショット」(57ページ)をご覧ください。
- シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影されたものではありません。イメージ画像です。
- 被写体の条件によっては、充分な効果が得られなかったり、正しく撮影されない場合があります。
- シーンを選んだ後から【SET】を押すことにより、シーンを選び直すことができます。

撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)

今まで撮影した画像の設定内容をベストショットモードに読み込んで、呼び出すことができます。呼び出した画像の設定内容と同じ設定で撮影することができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

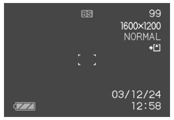
3. 【▲】【▼】で"BS"(ベストショット)を選び、【SET】を押します。
- シーンのサンプル画像が表示されます。

4. 【◀】【▶】を押して"新規登録"を表示させます。

5. 【SET】を押します。

6. 【◀】【▶】を押して読み込む画像を選びます。

7. 【▲】【▼】で"登録"を選び、【SET】を押します。



- 登録が完了します。
- 撮影できる状態になります。以降、53ページと同じ操作により、この設定を選んで撮影することができます。

重要!
- 本機では、内蔵されているシーンのあとに「マイベストショット(カスタム登録したシーン)」の順番でシーンが登録されます。
- 内蔵メモリーをフォーマット(94ページ)すると、カスタム登録したベストショットモードのシーンファイルは消えてしまいますので、その場合は必要に応じてカスタム登録し直してください。

参考
- 登録される設定内容は下記の通りです。
  フォーカスモード、EVシフト、フィルター、測光方式、ホワイトバランス、フラッシュ光量、シャープネス、彩度、コントラスト、フラッシュモード、ISO感度
- 本機で撮影された画像からのみ設定内容を読み取ることができます。
- 登録可能件数は最大999件となります。
- 各シーンの設定状態はメニューをたどり、各機能の設定内容を表示させることにより、確認できます。
- カスタム登録したシーンのファイル名は「UQR40nnn.jpe (n=0〜9)」となります。
- カスタム登録したシーンを消去したい場合は、ベストショットモードでシーンを選ぶときに、カスタム登録したシーンを表示させ、【▼】(⚡🗑)を押して削除するか、パソコンを使って内蔵メモリー内の「Scene」フォルダ内から消去したいシーンのファイルを削除してください(109ページ)。

二人で記念撮影をする(カップリングショット)

一画面を2つに分けて2回撮影し、その後自動合成して1枚の画像にする機能です。他の人に撮影を頼むことができないときでも、全員揃って記念撮影できます。この機能はベストショットモード(53ページ)の中にあります。

- 最初の撮影
  撮影者以外を撮影する。

- 最終的な撮影
  背景の重なり具合を確認しながら撮影者のみを撮影する。

- 合成

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"BS"(ベストショット)を選び、【SET】を押します。

4. 【◀】【▶】で"カップリングショット"のシーンを選び、【SET】を押します。

5. 最初に【液晶モニター】で【フォーカスフレーム】を左側部分の被写体に合わせて撮影します。
- この撮影で下記の情報が固定されます。
  フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ
- カップリングショットでは、"AFエリア"(46ページ)が自動的に"スポット"になります。

【フォーカスフレーム】

6. 次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている左側部分と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせ、右側部分を撮影します。
- 【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。

半透明の画像

重要!
- カップリングショットでは、撮影時に内蔵メモリーまたはメモリーカードのどちらか使用している方のメモリーを一時的に使用します。メモリーの容量が残り少ないと、撮影中にエラー表示が出ることがあります。その場合は不要な画像を消去してから再度撮影してください。